

MGC

2024年度
決算説明資料

 三菱ガス化学株式会社

2025年5月12日

証券コード
4182



1 | 2024年度 決算概要

2 | 2025年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

はじめに「2024年度決算概要」
次に「2025年度業績予想」
続いて「セグメント別業績概要」という順でご説明いたします。

1 | 2024年度 決算概要

2 | 2025年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

まず、2024年度業績についてご説明します。

2024年度 業績サマリー

売上高:株式会社JSPの持分法適用会社化により減収

営業利益:JSPの持分法適用会社化が減益要因も、PC・POM*1や、光学材料、メタノール等の損益改善や、円安などにより増益

経常利益:減損損失の剥落*2や、メタノール市況の上昇等により海外メタノール生産会社の持分法利益が改善し増益

当期純利益:MEP*3の連結化に伴う段階取得差益の剥落*4が減益要因も、法人税等調整額の一時的な改善*5等により増益

*1 PC=ポリカーボネート POM=ポリアセタール

*2 2023年度、トリニダード・トバゴのメタノール生産会社(Caribbean Gas Chemical Limited)にて減損損失74億円を計上

*3 三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社

*4 2023年度、MEP段階取得差益として150億円

*5 繰延税金資産の回収可能性を判断する際の会社分類を変更したことにより、一時的に法人税等調整額が改善

単位:億円	2023年度 実績	2024年度 実績	増減		2024年度 従来予想*6	増減 金額
			金額	%		
売上高	8,134	7,735	▲398	▲4.9	7,700	+35
営業利益	473	508	+35	+7.4	560	▲51
経常利益	460	603	+142	+31.0	630	▲26
親会社株主に帰属する 当期純利益	388	455	+67	+17.3	480	▲24
一株当たり当期純利益 (円/株)	190.97	228.93			241.61	
ROE (%)	6.1	6.9			7.3	
ROIC*7 (%)	3.3	6.4			6.7	
為替レート(JPY/USD)	145	153			152	

*6 2025年2月13日公表

*7 ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本

※ 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 4

4ページの業績概要をご覧ください。

売上高7,735億円、営業利益508億円、経常利益603億円、当期純利益455億円となりました。

売上高は、JSPの持分法適用会社への異動により減収となりました。

営業利益は、同じくJSPの異動が減益要因となりましたが、エンジニアリングプラスチックスや光学材料、メタノール事業等の損益が全般的に前期を上回ったことや、円安などにより、増益となりました。

経常利益は、前期に計上したトリニダード・トバゴのメタノール生産会社における減損損失が剥落したことや、メタノール市況の上昇等により、海外メタノール生産会社の持分法損益が改善したこと、ならびにJSPの持分法適用会社化により、増益となりました。

当期純利益は、三菱エンジニアリングプラスチックス、以降MEPと呼ばせていただきます、そちらの連結化に伴う段階取得差益の剥落が減益要因となりましたが、法人税等調整額の一時的な改善などもあり、増益となりました。

2024年度 業績のポイント

対前期 売上高▲398億円、営業利益+35億円、経常利益+142億円、当期純利益+67億円

- 売上高: (－) JSPの持分法適用会社化
(+) 円安(JPY/USD:2023年度145円→2024年度153円)
(+) メタノール市況の上昇、光学樹脂ポリマーなどの販売数量増加
- 営業利益: (＋) PC、POMの販売数量増加、採算改善
(+) 光学樹脂ポリマーの販売数量増加
(+) メタノール市況の上昇
(+) 円安
(－) JSPの持分法適用会社化
- 経常利益: (＋) 減損損失の剥落及びメタノール市況上昇(海外メタノール生産会社の持分法利益の改善)
(+) JSPの持分法適用会社化
- 当期純利益: (＋) 繰延税金資産の回収可能性を判断する際の会社分類を変更したことにより一時的に法人税等調整額が改善
(－) MEP*1の連結化に伴う段階取得差益の剥落 *1 三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社

配当: 年間95円(中間45円、期末50円*2) (前年実績から15円の増配)

*2 2025年5月26日の取締役会で正式に決定予定

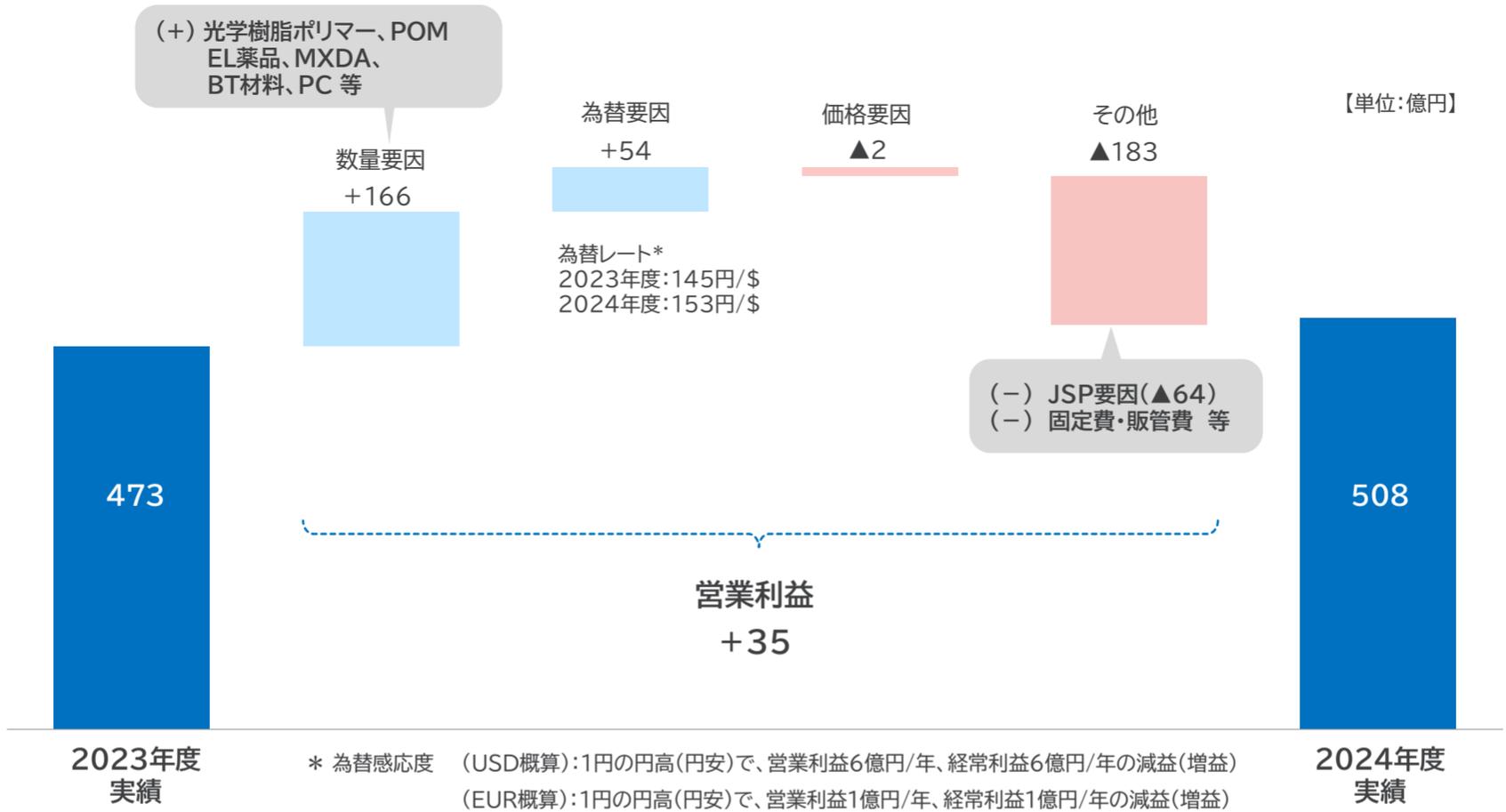
5ページは、2024年度業績のポイントを、プラス要因、マイナス要因に整理してお示ししております。後ほどご参照ください。

なお、年間配当については、前年実績から15円増配の95円を予定しております。

2024年度 営業利益 増減要因(前期比)



【単位:億円】



6ページに、2024年度の営業利益の増減要因を、対前年度比で示しております。
 こちらも後ほど、ご参照願います。

2024年度 営業外損益・特別損益



単位:億円	2023年度 実績	2024年度 実績	増 減	
営業外損益	▲12	94	+107	
持分法による投資損益	▲56	109	+166	持分法損益 +166
金融収支	24	26	+2	GEC +165
為替差損益	34	▲13	▲48	機能化学品 +1 等
その他	▲14	▲28	▲13	
特別利益	205	30	▲175	
補助金収入	8	14	5	
投資有価証券売却益	28	14	▲13	
段階取得に係る差益	150	-	▲150	段階取得に係る差益 ▲150
その他	17	1	▲15	前期に計上されたMEP*の連結化に伴う段階取得差益が剥落
特別損失	▲57	▲70	▲13	
損害補償損失	-	▲23	▲23	損害補償損失 ▲23
投資有価証券評価損	-	▲13	▲13	・電子材料関連
固定資産圧縮損	▲7	▲9	▲2	・芳香族化学品関連
事業構造改善費用	-	▲10	▲10	
減損損失	▲14	▲7	+7	
関係会社株式売却損	▲28	-	+28	
その他	▲6	▲6	+0	
特別損益合計	148	▲39	▲188	

※ 本表の増減は対損益増減を示しております。

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 7

7ページに、営業外損益・特別損益を記載しております。

主な差異要因についてご説明いたします。

まず営業外損益につきまして、持分法損益は、先ほどご説明した海外メタノール生産会社の損益改善や、JSPが今期より持分法適用会社となったことなどから、グリーン・エネルギー & ケミカル事業部門、以降GEC(ジーイーシー)と呼ばせていただきます、そちらで165億円の増益となっております。

続いて特別損益ですが、特別利益は、MEPの段階取得差益150億円の剥落により、前期比では大きくマイナスとなっております。

特別損失は、損害補償損失を、電子材料および芳香族化学品関連で、計23億円、計上しております。

1 | 2024年度 決算概要

2 | 2025年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

続いて、2025年度業績予想についてご説明します。

2025年度 業績予想



営業利益: 電子材料や光学材料、MXDA系製品等を中心に販売数量の増加を織り込むも、成長投資に伴う減価償却費および研究開発費の増加や、円高等により、当期を下回る見通し

経常利益: 営業利益の減少や、持分法利益の減少、支払利息の増加等により、当期を下回る見通し

当期純利益: 経常利益の減少等により、当期を下回る見通し

単位: 億円	2024年度 実績	2025年度 予想	増 減	
			金額	%
売上高	7,735	7,300	▲435	▲5.6
営業利益	508	460	▲48	▲9.5
(売上高営業利益率(%))	6.6	6.3		
経常利益	603	500	▲103	▲17.1
親会社株主に帰属する当期純利益	455	360	▲95	▲21.0
EBITDA	973	930		
(EBITDAマージン(%))	12.6	12.7		
一株当たり当期純利益(円/株)	228.93	184.89		
ROE (%)	6.9	5.4		
ROIC (%)*	6.4	4.2		
為替レート(JPY/USD)	153	140		

* ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本

9ページは、2025年度業績予想の概要を示しております。

売上高7,300億円、営業利益460億円、経常利益500億円を予想しております。

2025年度 業績予想のポイント

対前期 売上高▲435億円、営業利益▲48億円、経常利益▲103億円、当期純利益▲95億円

- 売上高: (一) 円高(JPY/USD:2024年度153円→2025年度140円前提)
(一) オルソキシレンチェーン*1からの事業撤退 *1 オルソキシレン、無水フタル酸、可塑剤事業
- 営業利益: (一) 減価償却費、研究開発費などの増加
(一) 円高
(+) 電子材料や光学材料、MXDA系製品等の販売数量増加
- 経常利益: (一) 営業利益の減少、持分法利益の減少、支払利息の増加
- 当期純利益: (一) 経常利益の減少
- 配当: 2025年度の年間配当は100円を予想(普通配当ベースで5円の増配)

米国による関税政策の影響について

- ✓ 当社グループの米国向け輸出高の割合は、売上高全体の約5%と低く、直接的影響は軽微と想定
- ✓ 但し顧客や原料を含めた需給変化やサプライチェーンへの影響によって生じる間接的影響についてはまだ不透明な部分が多く、全ては織り込めていない。

今後は価格転嫁やサプライチェーンの最適化などに取り組みリスク抑制に努める

■為替前提(通期): 1ドル140円、1ユーロ160円

(為替感応度(USD、概算):1円の円安(円高)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の増益(減益) ※2025年度より見直し。従来は、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の増益(減益)
(EUR、概算):1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

■原油価格前提(通期): 70ドル/bbl. (概算):1ドル/bbl.の下落(上昇)で、3億円/年の増益(減益)、メタノールへの影響は含まず)

※2025年度より見直し。従来は、2.5億円/年の増益(減益)、メタノールへの影響は含まず

■メタノール市況前提(通期): 335US\$/MT (メタノール感応度(概算):1ドル/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

10ページに、2025年度業績予想のポイントを示しております。

売上高は、円高や、オルソキシレンチェーンからの事業撤退等により、減収を予想しております。

営業利益は、電子材料や光学材料、MXDA及びその誘導品等の販売増を織り込んでおりますが、成長投資に伴う減価償却費および研究開発費の増加や、円高により、減益を予想しております。

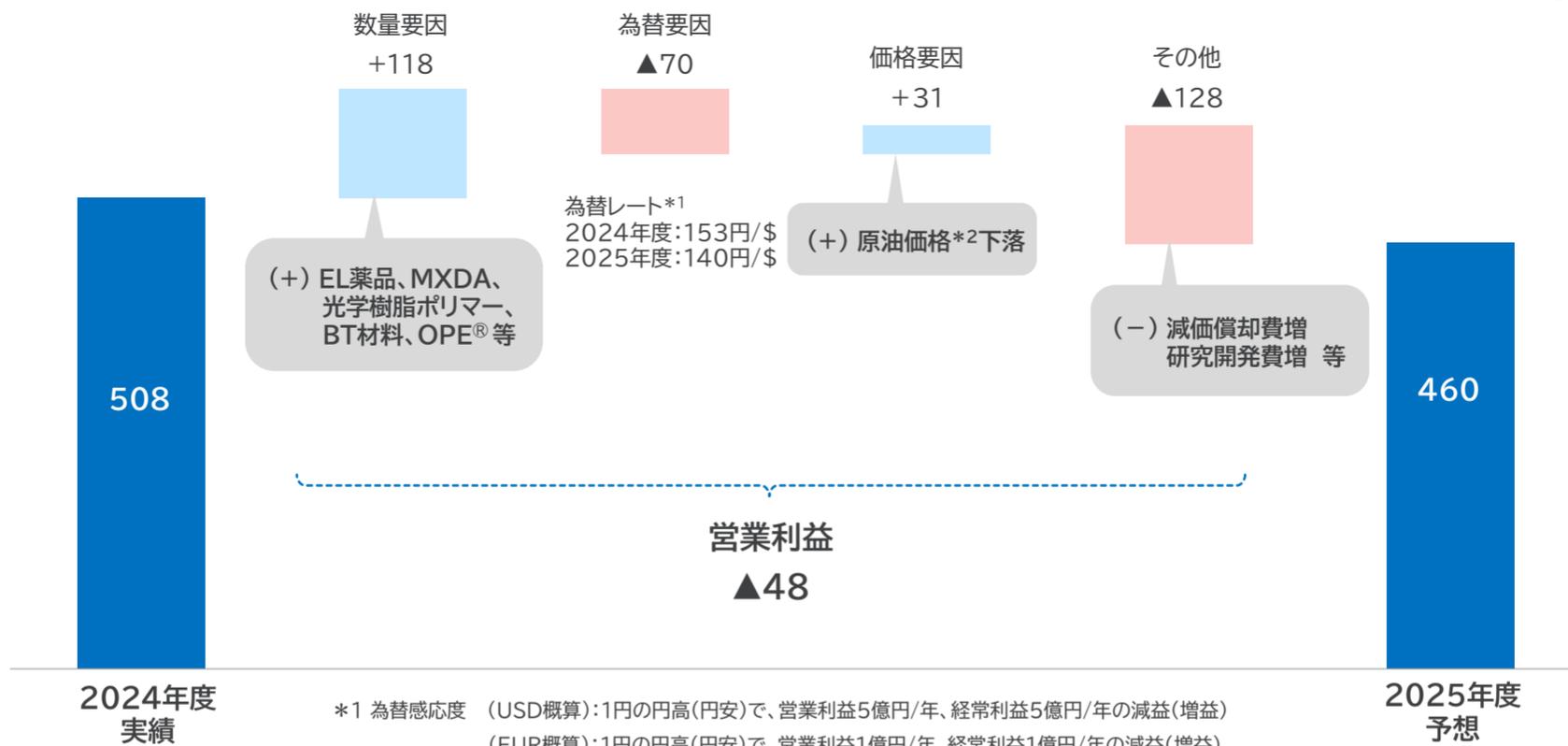
経常利益についても、営業利益の減少や、持分法利益の減少、支払利息の増加等より当期を下回る見通しです。

年間配当については、2025年度は前年度から5円増配の、100円を予想しております。

なお、米国による関税措置の影響について、当社グループにおける米国向け輸出の割合は、全社売上高の約5%と低く、直接的影響は軽微と想定しております。但し、顧客や原料を含めた需給変化やサプライチェーンへの影響によって生じる間接的影響についてはまだ不透明な部分が多く、現在の業績予想では、全ては織り込んでおりません。今後は価格転嫁やサプライチェーンの最適化などに取り組むとともに、業績への影響が懸念される事態においては、速やかに開示してまいります。

2025年度 営業利益 増減要因(前期比)

【単位:億円】



*1 為替感応度 (USD概算):1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益)
 (EUR概算):1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

*2 原油感応度 (概算):1ドル/bbl.の下落(上昇)で、3億円/年の増益(減益)

11ページは、2025年度営業利益予想の増減要因を、対前年度比で示しております。後ほど、ご参照願います。

株主還元・財務戦略

- 現中計「Grow UP 2026」において累進配当方針の採用*1、総還元性向の引き上げ*2等、株主還元を強化
- 2024年度は年間配当金の増額に加え、自己株式取得・消却を実施*3

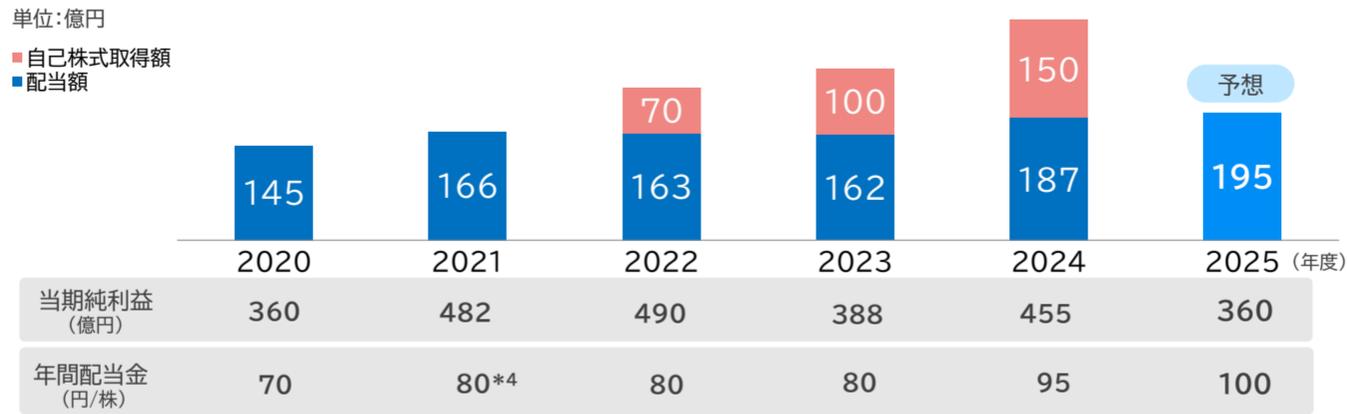
*1 中計3年間の期間を対象。原則、減配を実施せず、配当維持または増配を行う。

*2 中長期的な目安を40%から50%に引き上げ

*3 年間配当金の増配:2024年度の年間配当は95円を予定。(中間配当45円、期末配当50円)

自己株式取得(消却):約150億円、555万株の自己株式取得、および今回取得した自己株式の全株式数の消却を実施

2025年度の年間配当金は100円を予想(普通配当ベースで5円の増配)



*4 中間配当45円(記念配当10円を含む)、期末配当35円

引き続き財務健全性を担保しつつ、財務レバレッジの活用を含めたBSコントロールの強化等、資本コスト低減に向けた取り組みを推進

12ページは、株主還元について示しております。

昨年5月に公表した現中計において、KPIとして累進配当方針を採用し、総還元性向を50%に引き上げ、株主還元を強化しております。

2024年度は、これらの方針のもと、年間配当金の15円増配、ならびに約150億円の自己株式の取得・消却を実施しました。

2025年度は、年間配当金は昨年度実績から5円増配の、100円を予想しております。

今後も引き続き、財務健全性を担保しつつ、財務レバレッジの活用を含めたBSコントロールの強化など、資本コスト低減に向けた取り組みを推進してまいります。

1 | 2024年度 決算概要

2 | 2025年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

続いて、セグメント別業績概要をご説明します。

【単位:億円】

2024年度実績

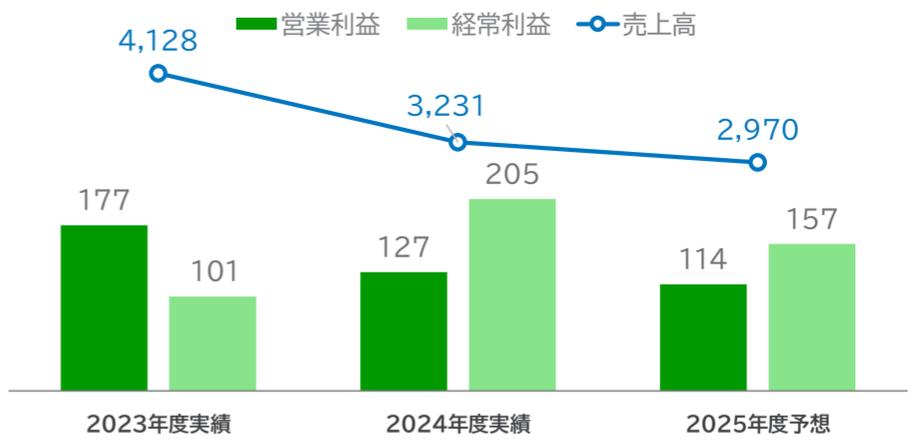
売上高、営業利益: JSPの持分法適用会社化により減収減益。JSPの要因を除くと、MXDA、芳香族アルデヒドの販売数量増加、メタノール市況上昇、エネルギー資源・環境事業における発電用LNGの販売増加、ヨウ素の市況上昇などにより増収増益

経常利益: 減損損失の剥落及びメタノール市況上昇(海外メタノール生産会社の持分法利益の改善)、JSP持分法利益の増加などにより増益

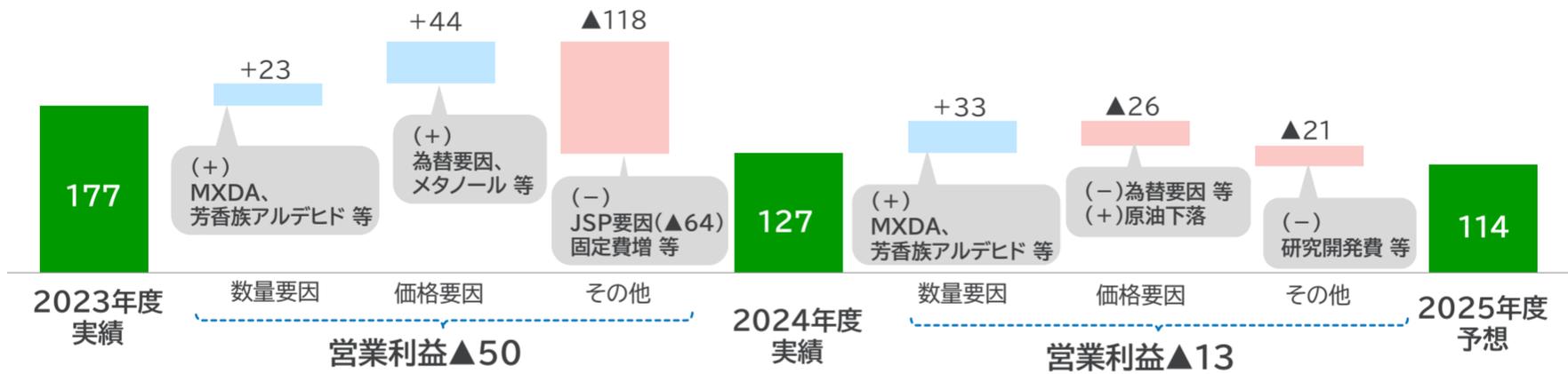
2025年度予想

売上高、営業利益: MXDA系製品やメタノール、MMA系製品等の販売数量の増加、修繕費の減少等を織り込むものの、円高や研究開発費の増加等により、減益の見通し

経常利益: 海外メタノール生産会社において、定修費等のコスト増加により、持分法損益が減少することを織り込み、減益の見通し



【営業利益差異要因】



14ページでは、GEC事業についてご説明いたします。

2024年度実績について、

売上高はJSP要因で減収、営業利益も同じく減益となりました。一方でJSP要因を除きますと、MXDAなどの販売数量増加や、メタノール市況の上昇、ヨウ素の販売好調・市況上昇などにより、増収増益となっております。

経常利益は、前期に計上した減損損失の剥落や、メタノール市況上昇、JSP持分法利益の増加などにより、増益となりました。

2025年度予想について、

営業利益は、MXDA及び誘導品などの販売増や、修繕費の減少等を織り込みますが、円高や、研究開発費の増加等により、減益の見通しです。

経常利益は、定修費等のコスト増加により海外メタノール生産会社の持分法損益が減少することを織り込み、減益を予想いたします。

下段の滝グラフは、後ほどご参照願います。

単位:億円	2024年度実績	2025年度予想	増減
売上高	3,231	2,970	▲261
天然ガス系化学品	2,329	2,184	▲145
芳香族化学品	912	792	▲120
調整	▲10	▲5	+5
営業利益	127	114	▲13
天然ガス系化学品	101	65	▲35
芳香族化学品	26	48	+22
調整	0	0	▲0
経常利益	205	157	▲47
天然ガス系化学品	155	101	▲54
芳香族化学品	49	56	+6
調整	0	0	▲0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

三菱ガス化学株式会社

		2024年度実績 (2023年度実績比)	2025年度予想 (2024年度実績比)
天然ガス系化学品	メタノール	▶ 前期に計上されたトリニダード・トバゴのメタノール生産会社における減損損失の剥落や、市況が前期に比べ上昇したことなどから増収増益(2023年度310ドル→2024年度334ドル)	▶ 市況は335ドルと前期並みを想定するも、前期の市況上昇局面による損益改善効果が剥落し、対前期比では減益を予想。
	メタノール・アンモニア系化学品	▶ MMA系製品の販売数量は回復傾向にあるものの、修繕費の増加等により減益	▶ MMA系製品の需要回復やスプレッド改善、修繕費の減少などにより増益を予想
	エネルギー資源・環境	▶ 発電用LNGの販売数量の増加や、ヨウ素の販売数量増加ならびに市況の上昇等により増収増益	▶ 発電用LNGの販売数量減や、ヨウ素関連事業の固定費の増加などにより減益の見通し
芳香族化学品	MXDA*、芳香族アルデヒド、ポリマー材料 *誘導品含む	▶ 欧米向けの需要が回復傾向にあるものの、中国向けの誘導品の販売数量減少や固定費の増加等により減益	▶ 欧米向けエポキシ硬化剤需要の回復に加え、中国シーリング剤用途でも回復を見込み増益の見通し オランダ新設プラントは今期下期中の完工を予定
	キシレン分離/誘導品	▶ 高純度イソフタル酸(PIA)の市況は低迷しているものの、円安等もあり増収増益	▶ オルソキシレンチェーン事業撤退に伴う固定費の減少等は織り込むも、PIA市況は引き続き低迷を想定

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 15

15ページ、GECの業績動向を、主要事業別に示しております。

2024年度実績について、

メタノールは、減損損失の剥落や、市況の上昇などから増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、主にMMA系製品において、販売数量は回復傾向にあるものの、大定修に伴う修繕費の増加等により、減益となりました。

エネルギー資源・環境事業では、発電用LNGの販売数量の増加や、ヨウ素の販売数量増加、市況の上昇等により、増収増益となりました。

MXDAや芳香族アルデヒド、および誘導品は、欧米向けの需要が回復傾向にあり増収となりましたが、固定費の増加等により、減益となりました。

2025年度予想について、

メタノールは、市況は前期並みの335ドルを想定しておりますが、前期の市況上昇局面による損益改善効果が剥落し、減益を予想しております。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の需要回復や、修繕費の減少などにより、増益を予想しております。

エネルギー資源・環境事業は、発電用LNGの販売数量減や、ヨウ素関連事業の固定費の増加などにより、減益の見通しです。

MXDAや芳香族アルデヒドは、欧米向け需要の回復に加え、MXDA誘導品の中国における需要回復を見込み、増益を予想いたします。

なお、MXDAのオランダ新設プラントは、今期下期中の完工を予定しております。

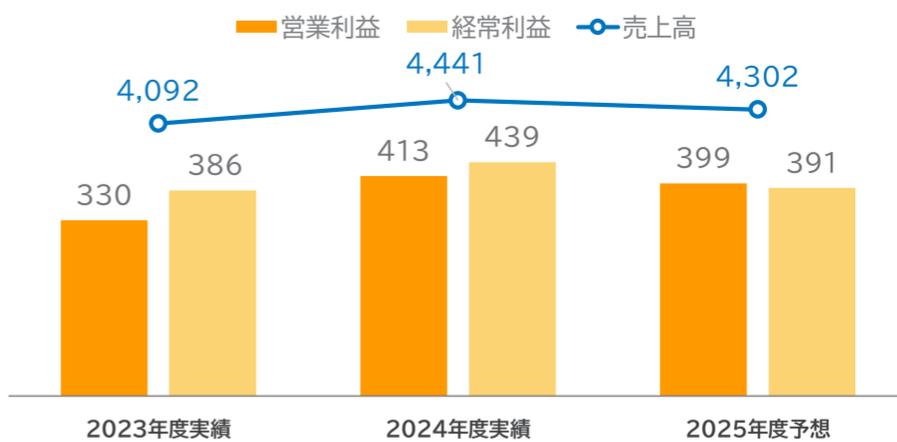
【単位:億円】

2024年度実績

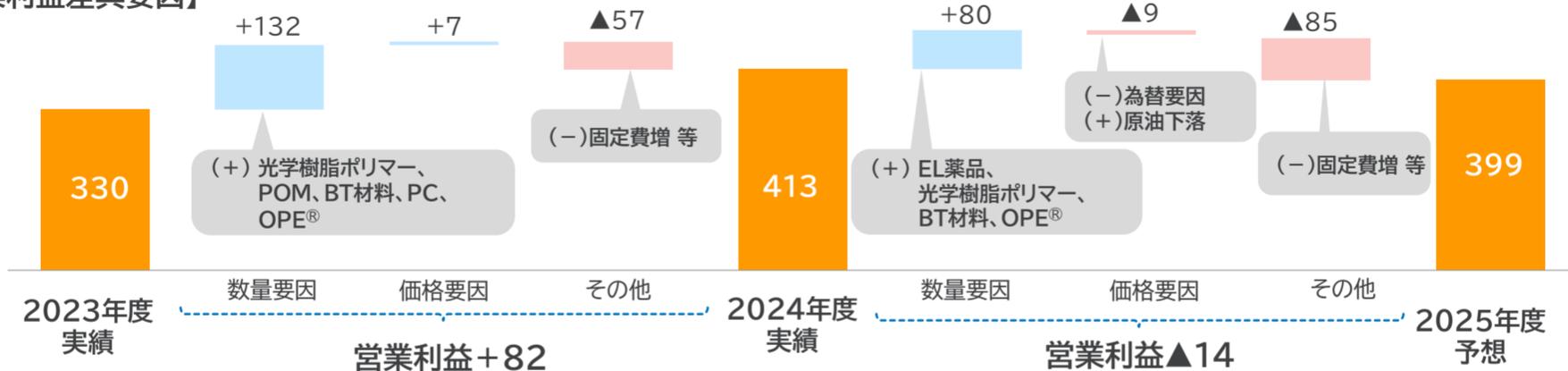
売上高、営業利益: スマートフォン向け光学樹脂ポリマーや先端半導体向け製品(ハイブリッドケミカル、OPE[®])の販売数量の増加に加え、エンジニアリングプラスチックの採算改善、脱酸素剤の収益拡大もあり、増収増益

2025年度予想

売上高、営業利益: 電子材料(BT材料、OPE[®])や光学樹脂ポリマー等の販売数量の増加を織り込むものの、円高や積極的な成長投資に伴う減価償却費の増加等により、減益の見通し
 経常利益: 営業減益に加え、支払利息の増加等もあり、減益の見通し



【営業利益差異要因】



16ページでは、機能化学品事業についてご説明いたします。

2024年度実績について、

スマートフォン向け光学樹脂ポリマーや、先端半導体向け製品の販売数量の増加に加え、エンジニアリングプラスチックの採算改善、脱酸素剤の収益拡大もあり、増収増益となりました。

2025年度予想について、

営業利益は、電子材料や光学樹脂ポリマー等の販売数量の増加を織り込むものの、円高や、減価償却費の増加等により、減益の見通しです。

また、経常利益についても、営業減益に加え、成長投資に伴う支払利息の増加等もあり、減益の見通しです。

下段の滝グラフは、後ほどご参照願います。

機能化学品



単位:億円	2024年度実績	2025年度予想	増減			2024年度実績 (2023年度実績比)	2025年度予想 (2024年度実績比)
				機能化学品	特殊機能材		
売上高	4,441	4,302	▲139	機能化学品	無機化学品	▶ 半導体向け薬液において、高機能メモリ向けに使用されるハイブリッドケミカルなどの販売数量が増加したことから増益	▶ 半導体向け薬液は需要回復を見込むも、成長投資に伴う減価償却費の増加等により、減益の見通し
機能化学品	3,706	3,479	▲227	機能化学品	エンジニアリングプラスチック	▶ PC、POM共に、高付加価値品をはじめとして販売数量が増加したことに加え、製造コストの改善等もあり、増収増益	▶ PC・POM共に事業環境が厳しさを増すと見込まれる中、いずれも海外子会社の為替換算影響等により減益を予想
特殊機能材	735	823	+88	機能化学品	光学材料	▶ スマートフォンにおけるカメラの高機能化トレンドや新興国向け需要の増加等により、光学樹脂ポリマーの販売数量が増加し、増収増益	▶ スマホ需要は今後も緩やかな伸長を予想。高機能化トレンドの継続も後押しとなり増益を見込む
調整	▲0	▲0	▲0	特殊機能材	電子材料	▶ BT材料において、スマートフォン向け材料の販売が堅調であったことに加え、AIサーバー向け基板材料OPE®の販売数量の増加などが増益要因となったものの、BT材料の顧客向け品質対応強化に伴うコスト増加などにより、前期並みの損益	▶ BT材は半導体市場の成長に伴い概ね用途全般に亘り販売数量が増加し、増収増益を予想。 OPE®もAIサーバー市場の拡大に伴い成長が続く見通し
営業利益	413	399	▲14	特殊機能材	生活衛生ソリューションズ (旧 脱酸素剤)	▶ 円安による輸出価格改善や海外向け販売数量の増加により増収増益	▶ 脱酸素剤は、需要は堅調を見込むも、円高や原材料価格上昇を見込み、前期をやや下回る見通し
機能化学品	266	236	▲29				
特殊機能材	146	162	+15				
調整	0	0	▲0				
経常利益	439	391	▲47				
機能化学品	279	222	▲56				
特殊機能材	159	169	+9				
調整	0	0	▲0				

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

三菱ガス化学株式会社

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC. | 17

17ページに、機能化学品事業の業績動向を、主要事業別に示しております。

2024年度実績について、

無機化学品は、高機能メモリ向けに使用されるハイブリッドケミカルなどの販売数量が増加し、増益となりました。

エンプラは、高付加価値品等の販売数量が増加したことに加え、製造コストの改善などもあり、増益となりました。

光学材料は、スマートフォンカメラの高機能化トレンドや、新興国向け需要の増加等により、増益となりました。

電子材料は、スマートフォン向けのBT材料の販売が好調であったことに加え、AIサーバー向け基板材料であるOPEの販売数量も増加しましたが、BT材料における、顧客向けの品質対応強化に伴うコスト増などもあり、前期並みの損益となりました。

脱酸素剤は、輸出価格の改善や、海外向け販売の増加などにより、増益となりました。

尚、本年2月にニュースリリースいたしましたとおり、今年度より、脱酸素剤事業部で取り扱う事業と、無機化学品事業部で取り扱う環境衛生関連製品群を再編統合し、新たに「生活衛生ソリューションズ事業部」を設立する組織改定を行っております。今年度より表記を改めさせていただきます。

2025年度予想について、

無機化学品は、半導体向け薬液の需要回復を見込んでおりますが、減価償却費の増加等により、減益の見通しです。

エンプラは、PC・POM共に需給バランスなどの事業環境は厳しさを増すと見込まれる中、海外子会社の為替換算影響等もあり、減益を予想いたします。

光学材料は、スマートフォン向け需要の緩やかな伸長、高機能化トレンドの継続を見込み、増益の見通しです。

電子材料は、半導体市場の成長に伴い、概ね用途全般に亘るBT材料の販売増を予想します。またOPEも、AIサーバー市場の拡大に伴い、成長が続く見通しです。

生活衛生ソリューションズは、脱酸素剤の需要は堅調と見込みますが、円高や原材料価格上昇を見込み、損益は前期をやや下回る見通しです。

決算についての私からの説明は以上でございます。

ご説明させていただきました通り、特に2025年度の業績予想につきましては、投資家の皆様方の高いご期待には十分お応えできていないと認識しております。生成AIを除く半導体市場の回復遅れに加え、米国の関税政策や円高など外部環境の変化もありまだ不透明な部分もありますが、これまで積極的に行ってきた成長投資の刈取りを今後確りと行うとともに、事業PFの強靱化も引き続き推し進め、ROIC及びROEの向上を図るなど資本効率の向上をこれまで以上に意識した経営を推進していきたいと考えております。

引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

参考: Uniqueness & Presence (U&P)事業の営業利益推移

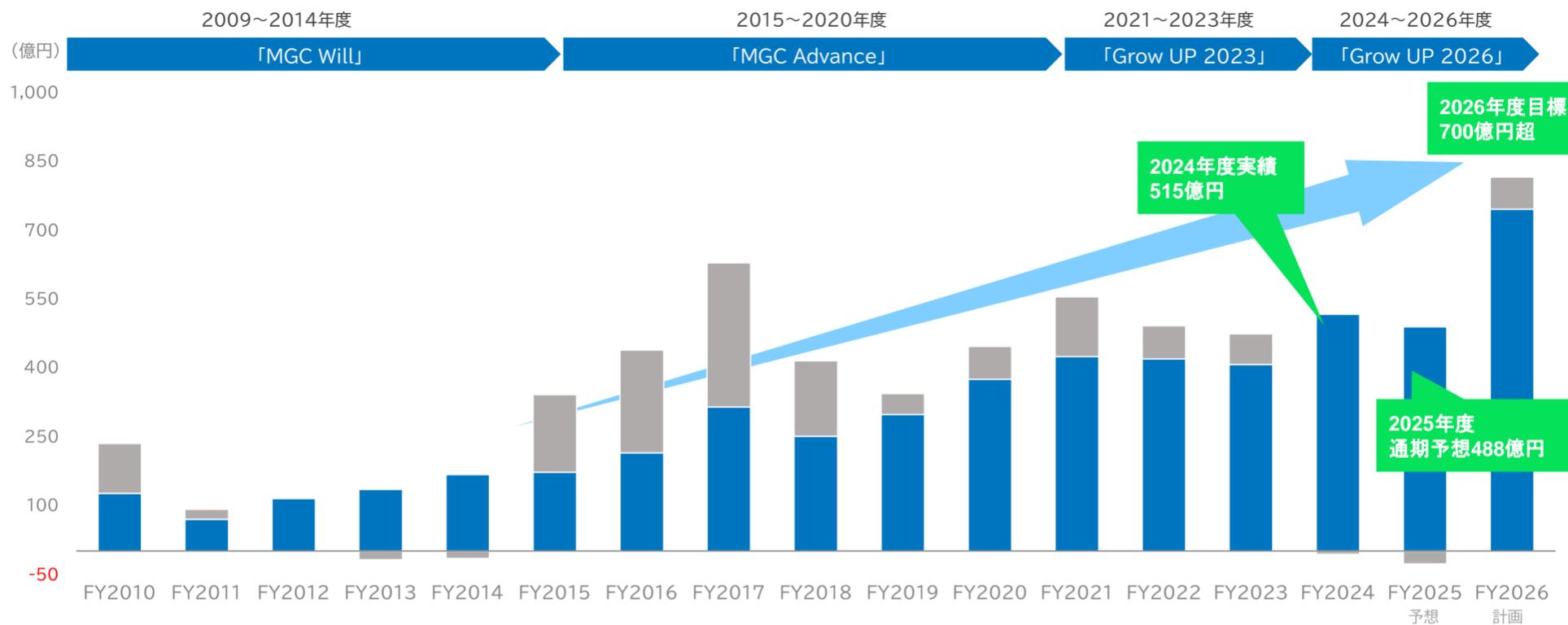


成長ドライバーであるICT3事業を中心に、現中計期間に再拡大

U&P事業: 中計「GrowUP2026」において経営資源を優先的に配分すべきと評価した以下の事業

電子材料、無機化学品(EL薬品等)、光学材料、メタノール、エネルギー資源・環境事業、POM、MXDA/芳香族アルデヒド、ポリマー材料

営業利益(U&P事業 その他事業(GEC・機能に属さない本社費用等も含む))



Appendix

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2023年度実績			2024年度実績			2025年度予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,881	3,854	7,735	3,600	3,699	7,300
GEC	2,094	2,034	4,128	1,639	1,592	3,231	1,418	1,552	2,970
機能化学品	1,941	2,150	4,092	2,229	2,212	4,441	2,163	2,139	4,302
全社/調整	▲39	▲47	▲86	12	49	62	17	8	26
営業利益	221	252	473	337	170	508	240	220	460
GEC	94	82	177	101	26	127	52	61	114
機能化学品	142	188	330	252	161	413	213	185	399
全社/調整	▲16	▲19	▲35	▲15	▲16	▲32	▲26	▲27	▲53
経常利益	249	210	460	374	228	603	270	230	500
GEC	74	26	101	142	62	205	69	88	157
機能化学品	178	207	386	258	180	439	223	168	391
全社/調整	▲4	▲23	▲27	▲27	▲13	▲41	▲22	▲27	▲49

参考:主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2023年度実績			2024年度実績			2025年度予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	3,996	4,137	8,134	3,881	3,854	7,735	3,600	3,699	7,300
天然ガス系化学品	975	1,180	2,155	1,195	1,134	2,329	1,047	1,136	2,184
芳香族化学品	1,133	872	2,006	449	463	912	373	418	792
機能化学品	1,648	1,803	3,452	1,866	1,840	3,706	1,754	1,724	3,479
特殊機能材	293	347	640	362	372	735	408	414	823
全社/調整	▲55	▲65	▲120	7	43	51	14	5	20
営業利益	221	252	473	337	170	508	240	220	460
天然ガス系化学品	41	44	85	77	23	100	27	37	65
芳香族化学品	53	37	91	23	2	26	25	23	48
機能化学品	88	105	194	172	94	266	133	103	236
特殊機能材	53	83	136	79	67	146	79	82	162
全社/調整	▲16	▲18	▲35	▲15	▲17	▲32	▲26	▲26	▲53
経常利益	249	210	460	374	228	603	270	230	500
天然ガス系化学品	18	▲18	0	110	44	155	36	64	101
芳香族化学品	56	44	101	32	17	49	32	24	56
機能化学品	116	118	234	168	110	279	137	85	222
特殊機能材	61	89	151	89	70	159	85	83	169
全社/調整	▲4	▲23	▲28	▲26	▲14	▲41	▲22	▲27	▲49

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

セグメント別 2023年度及び2024年度 四半期別推移



単位:億円	2023年度実績				2024年度実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,000	1,950	1,904
GEC	1,019	1,074	1,155	878	783	855	804	787
機能化学品	872	1,069	1,087	1,062	1,092	1,136	1,134	1,078
全社/調整	▲21	▲17	▲22	▲24	4	8	10	38
営業利益	62	158	165	86	157	180	115	55
GEC	32	62	69	12	41	60	28	▲2
機能化学品	35	106	107	81	126	126	99	62
全社/調整	▲5	▲10	▲11	▲7	▲9	▲6	▲12	▲4
経常利益	70	179	184	26	179	194	164	64
GEC	20	54	90	▲63	45	97	41	21
機能化学品	47	131	114	93	139	119	126	54
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲5	▲22	▲2	▲10

参考:主要製品群別 2023年度及び2024年度 四半期別推移



単位:億円	2023年度実績				2024年度実績			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,000	1,950	1,904
天然ガス系化学品	492	483	545	634	565	629	552	582
芳香族化学品	535	598	619	253	220	228	254	209
機能化学品	735	913	912	890	910	956	949	890
特殊機能材	136	156	175	171	182	179	184	187
全社/調整	▲29	▲25	▲31	▲34	1	5	9	34
営業利益	62	158	165	86	157	180	115	55
天然ガス系化学品	18	22	16	28	27	49	▲0	24
芳香族化学品	13	39	53	▲15	13	10	29	▲27
機能化学品	16	72	63	41	84	88	66	28
特殊機能材	18	34	43	39	41	38	33	33
全社/調整	▲6	▲10	▲11	▲7	▲9	▲6	▲13	▲4
経常利益	70	179	184	26	179	194	164	64
天然ガス系化学品	5	12	33	▲51	26	83	▲5	50
芳香族化学品	15	41	57	▲12	17	14	46	▲29
機能化学品	24	92	65	52	90	78	89	20
特殊機能材	22	39	48	41	49	40	36	33
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲4	▲22	▲3	▲10

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

2024年度 貸借対照表



単位:億円	2024年3月末	2025年3月末	増 減	単位:億円	2024年3月末	2025年3月末	増 減
流動資産	4,631	4,602	▲28	負債	3,831	4,223	+391
現預金	714	682	▲32	買掛債務	1,090	1,030	▲59
売掛債権	1,656	1,578	▲77	有利子負債	1,730	2,139	+409
棚卸資産	2,005	2,075	+69	その他	1,011	1,052	+40
その他	255	266	+11				
固定資産	6,048	6,594	+545	純資産	6,848	6,973	+125
有形固定資産	3,146	3,665	+519	株主資本	5,876	6,007	+131
無形固定資産	248	249	+1	その他包括利益累計額	701	674	▲26
投資その他の資産	2,653	2,678	+24	非支配株主持分	270	291	+20
資産合計	10,680	11,196	+516	負債・純資産合計	10,680	11,196	+516

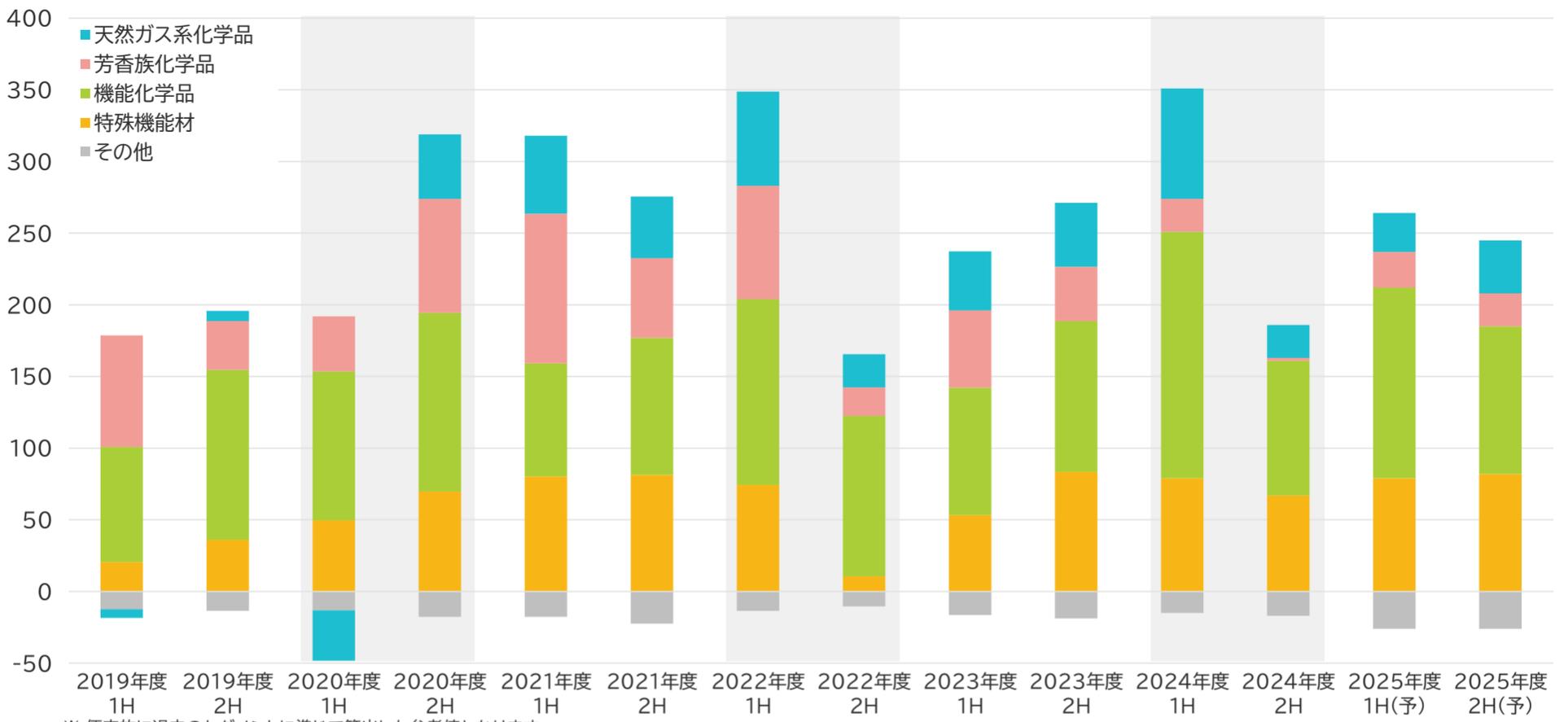
2024年度 キャッシュフロー計算書



単位:億円	2023年度	2024年度	増 減
営業キャッシュフロー	734	754	+19
投資キャッシュフロー	▲761	▲909	▲148
フリーキャッシュフロー(差引)	▲26	▲155	▲128
財務キャッシュフロー	▲406	47	+453
現金及び現金同等物に係る換算差額等	76	18	▲57
現金及び現金同等物の増減額(合計)	▲357	▲90	+267
現金及び現金同等物の期首残高	1,011	653	▲357
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	6	+6
現金及び現金同等物の期末残高	653	569	▲84

参考:主要製品群別 営業利益推移

(億円)



※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

参考:各種指標 (1)



単位:億円	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予)
設備投資額 [上期]	350 [137]	309 [139]	392 [186]	423 [224]	402 [158]	547 [220]	646 [312]	817 [380]	887 [397]	870 [470]
減価償却費 [上期]	256 [122]	270 [131]	274 [135]	295 [144]	306 [151]	319 [158]	335 [161]	363 [183]	346 [168]	390 [180]
研究開発費 [上期]	192 [96]	189 [95]	186 [91]	196 [94]	199 [98]	210 [101]	235 [111]	256 [126]	261 [127]	295 [155]
年度末人員(人)	8,034	8,009	8,276	8,954	8,998	9,888	10,050	7,918	8,146	8,353
EBITDA* ¹	894	1,088	976	616	817	1,070	1,050	849	973	930
U&P事業 営業利益	213	314	250	297	374	423	418	406	515	525
ROA(総資産経常利益率)(%)	8.4	10.6	8.7	3.9	6.2	8.4	7.1	4.4	5.5	4.4
ROE(自己資本当期利益率)(%)	12.0	13.6	11.3	4.3	7.1	8.8	8.3	6.1	6.9	5.4
ROIC(投下資本利益率)* ² (%)	9.6	12.1	9.5	3.6	6.2	7.4	6.4	3.3	6.4	4.2
売上高営業利益率(%)	7.9	9.9	6.4	5.6	7.5	7.8	6.3	5.8	6.6	6.3
一株当たり当期純利益 (円/株)	221.83	281.39	257.46	100.50	173.41	232.15	239.08	190.97	228.93	184.89
一株当たり配当金* ⁴ (円/株) [うち中間配当]	38.00 [16.00]	59.00 [24.00]	70.00 [35.00]	70.00 [35.00]	70.00 [35.00]	80.00* ³ [45.00* ³]	80.00 [40.00]	80.00 [40.00]	95.00 [45.00]	100.00 [50.00]
総還元性向 (%)	30.1	32.5	27.2	111.4	40.4	34.5	47.9	67.5	74.1	54.1

*1 EBITDA=経常利益+減価償却費+支払利息 *2 ROIC=(営業利益-法人税等+持分法損益)/投下資本 *3 記念配当10円を含む

*4 当社は2016年10月1日に株式併合(2株→1株)を実施しております。2016年度の一株当たり当期純利益および配当金については、当該併合が行われたと仮定した遡及修正による数値を表示しております。

参考:各種指標(2) セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)



単位:億円	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
設備投資額*	天然ガス系化学品	90	60	57	72	GEC	197	192	320	370	349
	芳香族化学品	105	113	146	150						
	機能化学品	81	110	144	146	機能化学品	186	326	286	419	500
	特殊機能材	66	19	23	26						
	その他	5	6	21	27	その他	18	29	39	27	37
	合計	350	309	392	423	合計	402	547	646	817	887
減価償却費	天然ガス系化学品	50	51	55	63	GEC	164	171	179	173	137
	芳香族化学品	85	85	87	95						
	機能化学品	86	91	87	87	機能化学品	130	130	137	168	185
	特殊機能材	30	35	36	38						
	その他	3	5	8	10	その他	11	17	18	20	24
	合計	256	270	274	295	合計	306	319	335	363	346

* 固定資産計上ベース

参考:各種指標 (3)



	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度 予想
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
為替(JPY/USD)	110	115	134	137	141	148	153	152	140
為替(JPY/EUR)	131	130	139	143	153	160	166	162	160
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	69	87	102	83	82	82	82	75	70
メタノール (US\$/MT) アジアスポット平均価格	370	428	375	351	297	324	333	335	335
原料キシレン(US\$/MT)	780	875	1,105	925	960	910	885	750	760
ビスフェノールA (US\$/MT)*	2,750 ~3,700	2,100 ~3,150	1,450 ~2,200	1,250 ~1,700	1,150 ~1,400	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350	1,200 ~1,350	1,200 ~1,300
ポリカーボネート (US\$/MT)*	3,100 ~4,050	2,650 ~3,650	1,950 ~2,900	1,800 ~2,200	1,650 ~1,900	1,700 ~1,900	1,750 ~1,900	1,600 ~1,800	1,600 ~1,750

* 期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD) :1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益5億円/年の減益(増益)
 為替(EUR) :1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)
 原油(Dubai) : \$1/bbl.の上昇(下落)で、3億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず
 メタノール :メタノール市況 \$1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

報告セグメント	主要製品群	主要製品(2024年度まで)	主要製品(2025年度以降)
グリーン・エネルギー &ケミカル (旧基礎化学品)	天然ガス系 化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品(アンモニア・アミン類、MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品、等) ・エネルギー資源・環境事業 	変更なし
	芳香族 化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料(MXナイロン等) ・キシレン分離/誘導品(メタキシレン、高純度イソフタル酸(PIA)等) 	変更なし
機能化学品	機能化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・無機化学品(EL薬品(超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル)、過酸化水素等) ・エンジニアリングプラスチックス(ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等) ・光学材料(光学樹脂ポリマー、超高屈折レンズモノマー等) 	変更なし*
	特殊機能材	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・脱酸素剤(エージレス®等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・生活衛生ソリューションズ製品* (脱酸素剤:エージレス®等) (環境衛生関連製品群:ダイヤパワー等)

* 2025年4月の生活衛生ソリューションズ事業部の設立に伴い、無機化学品のうち環境衛生関連製品群(医療機器洗浄、飲料容器殺菌、公害対策薬剤)は特殊機能材の主要製品へ移動しました。

- アナリスト・機関投資家向け 経営概況説明会
2025年6月6日(金) 16:00-17:15(最長)
- 2025年度第1四半期 決算発表
2025年8月7日(木) 15:30
- 2025年度第1四半期 アナリスト・機関投資家向け 決算説明会
2025年8月7日(木) 時間未定

※上記予定は都合により、予告なく変更となる可能性があります。

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部 IRグループ

TEL 03-3283-5041

URL <https://www.mgc.co.jp/>



IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、
メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

